

先日、小国川の水が茶色くにごっているとニュースで見ました。でも、**同じ日に真室川の水はにごっていなかったのはどうしてかな？**（真小9月のほうこく）



川が茶色くにごるのはどうして？



晴れの日の真室川

大雨がふった後の真室川



川の水は、土の色がまざることで**茶色**になります。
 普段は透き通った川でも、雨が降ると普段流れていないところまで水が上昇するため、川の底や周りにある泥が巻き上げられ、茶色くにごってしまいます。



危険！

川がにごっているときは、水かさが増し、川の流れるスピードも速くなっている場合があります。
 危険なので、決して近づかないようにしてくださいね！



なぜ小国川はにごって真室川はにごらなかったの？

9月10日から11日にかけて、**山形県の東側**で大雨が降りました。

なかでも小国川の流れる最上町では記録的な大雨が降り、大量の水が上流からものすごい勢いで流れこんできました。

小国川で大雨が降っていたとき、真室川はどうだったでしょう？



真室川と小国川の雨量の比較

	真室川(真室川町)	小国川(最上町)
1時間の最大雨量	約15mm (10日 22時から 23時のあいだ)	約50mm (10日 23時から 24時のあいだ)
総降水量(9/9~9/11)	約50~80mm	約170mm

2~3倍のちがい

最上町(向町地点)ではバケツをひっくり返したような雨が降り続いたため、川はあっという間に茶色くにごるだけではなく、濁流となっではん濫し、住民が避難しなければなりません。



真室川と小国川は離れた位置にあることと、真室川では10日の夜中しか大雨が降らなかったため、次の日にみなさんが小学校に登校する時にはおだやかな川の流れに戻り、にごりも治まりました。